

平泉文化セミナー第75回例会の開催案内

岩手大学平泉文化研究センターでは、東アジアにおける総合的「平泉学」の構築を図るための一環として、平泉文化セミナーや講演会等を定期的に開催しております。

今回は、平泉文化セミナー第75回例会を下記により開催しますので、ご都合のつく方はご参加ください。参加費は無料です。

演題

岩手県内の主要な金鉱山の調査結果

岩手大学教育学部准教授 苗村 康輔 氏

要 旨：

岩手県の北上山地には大萱生鉱山を始めとする多くの金山が存在し、古代から近代にかけて採掘が行われてきた。現在全ての鉱山は閉山しているが、その跡地には鉱山から掘り出された鉱石がズリとして放置されているため採取、分析することが可能である。われわれは奥州藤原氏の平泉文化を支えた金の出所由来を探るという古代歴史ロマンに科学的にアプローチするために、北上山地に分布する8箇所の金山から鉱石を採取し、記載・分析を行ってきた。本セミナーでは、これまでに得られた結果の概要と今後の展望について説明するだけでなく、実際の金鉱石を顕微鏡で観察してもらうことで、金探しの体験実習を行う予定である（画像は朴木金山から分離した金粒子、サイズは0.1-0.2 mm径）。

令和6年3月18日（月） 14：00～15：30

岩手大学教育学部1号館 2階 E23 講義室

※会場参加のかたは、事前の申し込みは不要です。

※Zoom参加を希望されるかたは、3月15日（金）までに下記連絡先までメールにてお申し込みください。（ただし、視聴のみとなります。）

- ・会場参加者はマスクをご着用されることをお勧めします。
- ・体温が37.5度以上の場合は入場をお断りする場合があります。